

スタートアップモデル研究分科会 発足のお知らせ

- [主査]和田智之(光量子工学研究センター  
光量子制御技術開発チーム チームリーダー)  
[副査]福間 康文(株式会社SAI 代表取締役社長)  
[副査]木暮 繁(理研発 SBIR スタートアップ  
株式会社フotonラボ 代表取締役社長)

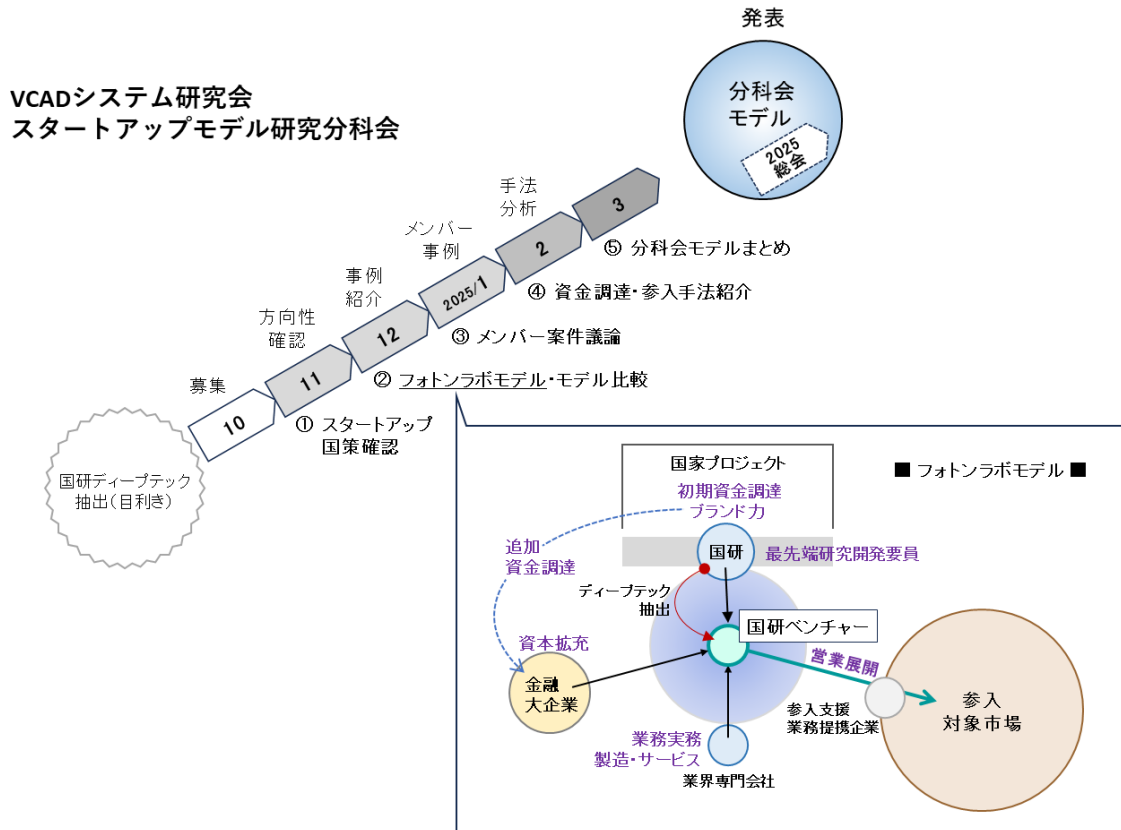
資料作成:木暮 繁

経緯: BIM 計測 AI 分科会及びAI For DX分科会を統合

発足: 2024 年 10 月

目的: 最新技術の事業化の手法を議論し、参加メンバーが企画検討あるいは実行している事業に関する補助ロケットになることを目的にしている。

概要(イメージ):



内容:

原則として毎月1回のミーティング

第1回 2024年11月 (リアル+ネット対応)

- ・和田先生(主査)のご挨拶
- ・(木暮説明)分科会の目的とスケジュールの確認
- ・参加メンバーの自己紹介
- 企画検討あるいは実行している事業について説明いただく
- ・国策である「スタートアップ育成5か年計画」に関する情報共有

第2回 2024年12月 (リアル+ネット対応)

- ・事例紹介: フォトンラボモデルを説明し、意見を述べ合う
- フォトンラボモデル:
  - 理研 和田先生が指揮をした SIP「レーザーを使ったインフラ点検技術の開発(2014~2022)」における事業化の手法。
  - 成果: 理研ベンチャー「株式会社フォトンラボ」が設立され、道路点検において技術認定を受け、社会実装が開始された。
  - この成功を受け、日本国の鉄道保全技術の革新を目的に国土交通省鉄道局から SBIR フェーズ 3 事業に採択された。
  - 内閣府・財務省・国土交通省・経済産業省から日本を代表するスタートアップ企業の1社として認められ、期待されている。
- ・懇親会(リアル: 池袋周辺)

第3回 2025年1月 (リアル+ネット対応)

- ・事例紹介: メンバー案件の構想・経緯を説明し、意見を述べ合う

第4回 2025年2月 (リアル+ネット対応)

- ・資金調達、市場参入などの方法に関して議論する。
- ・事業化促進方法(生成 AI の利用など)に関して議論する。

第5回 2025年3月 (リアル+ネット対応)

- ・半年間の議論のまとめ
- ・参加メンバーの企画検討あるいは実行している事業への効果・影響・決意を各自発表する。
- ・新技術スタートアップに対するビジネスモデル案を提案する。  
⇒2025年度の全体会議で発表する

以上